

# 2025年度 活動報告

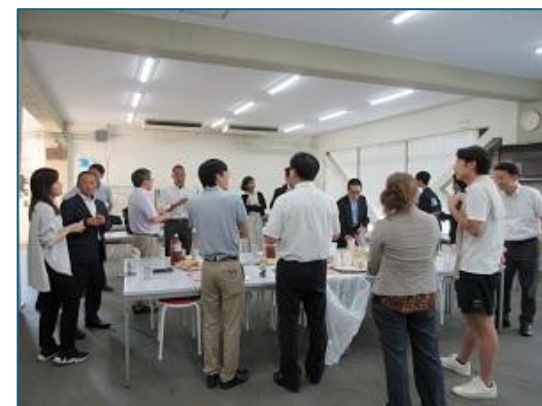
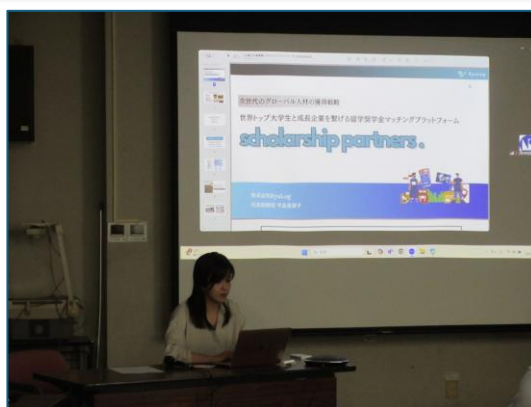
# ■ 2025年度 総会

- ・ 日 時： 2025年8月26日（火） 14:30～16:00
- ・ 形 式： 対面、オンライン併用
- ・ 出席者： 会員：18社19名、教職員：7名

## ・ 講演会：

- ① 「イノベーションアカデミー事業」の概要と「共創パートナーズ」のご案内  
大阪公立大学 産学官民共創推進室 課長 若木 理恵
- ② 「留学生向けマッチングサービス」のご紹介  
株式会社RyuLog 代表取締役 平良 美奈子

※ 総会終了後、食堂に於いて交流会を実施



# ■ 企業見学会 2025（高専2年生向け）

■ 実施期間      2025年8月18日（月）～9月12日（金）

## ■ 実施目的

- ①企業の行っている事業や仕事内容の理解を深める
- ②所属コースで学ぶ内容が、企業の事業にどう活かすことができるかを考える

■ 参加学生      2年生    165名

## ■ 見学受入企業（25社）



## 【企業見学会実施後のアンケートより一部抜粋】

- ・ 社会人やOBなどの話を聞いて、働き方についてどのように感じましたか？
- ・ 参考になった(興味関心を持てた) 点や感想など

### <A社>

・ 各々が自分の役割を全うし協力することで素晴らしい製品が出来上がるということを学び、高専祭でよいものを作り上げるための参考になった。

### <B社>

・ 災害対策や環境保全に徹底している点（もし火災が発生しても事業所が所有している消防車で迅速に鎮火できたり、耐震、液状化対策も徹底している）

### <C社>

・ モノを作る際、すでに世にあるものの権利を侵害しない、そして自らも侵害されないように公開する（売り出す）ということをこれまで考えていなかったのも参考になった。

### <D社>

・ 業務中の社員の安全を重視していたり、安くてすごしやすい寮があったりと、働きやすいようにされていると感じた。

### <E社>

・ 最初は家具を作るだけの会社かと思っていたが、それだけではなく幅広く様々なものを作っていて、中小企業で働くという選択が大きく感じた点

# ■ 特別講義 2025（高専4年生向け）

■ 日 時 2025年9月24日（水）10時～12時00分

■ 目 的 各社の企業理念やオンリーワン技術等をじっくり聴くことで、中堅企業が我が国のものづくりに大きく貢献していること等について知見を広げる。また、起業されたOBの体験等を聞き、今後のキャリア形成を考える一助とする。

■ 参加学生 4年生

■ 出講企業 3社（産学連携推進会 会員企業）

■ 内 容

- ① 抱月工業(株) 執行役員 弓指 利武 様  
「モノづくりは、ヒトづくりから」
- ② (株)フォーラムエイト 執行役員 新田 純子 様  
「社会インフラを支えるVR技術開発への挑戦」
- ③ ハイラブル(株) 代表取締役 水本 武志 様（本校OB）  
「カエルの合唱から始まる会話分析スタートアップの企業」

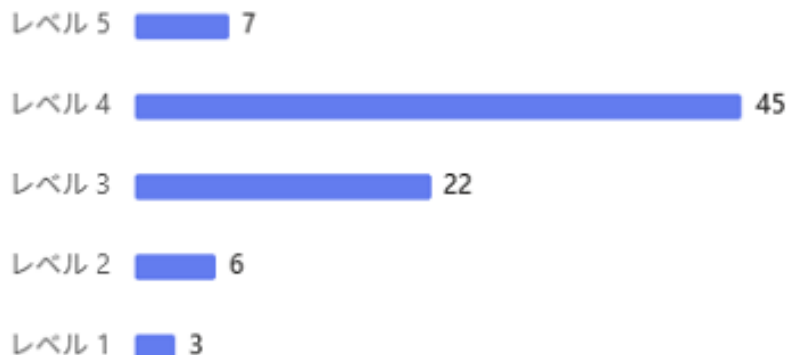


# ■特別講義 2025 アンケート結果

本日の特別講義について、最良を5として、5～1の数字を選択してください

3.57

平均評価



## < 参加した学生のコメント（一部抜粋） >

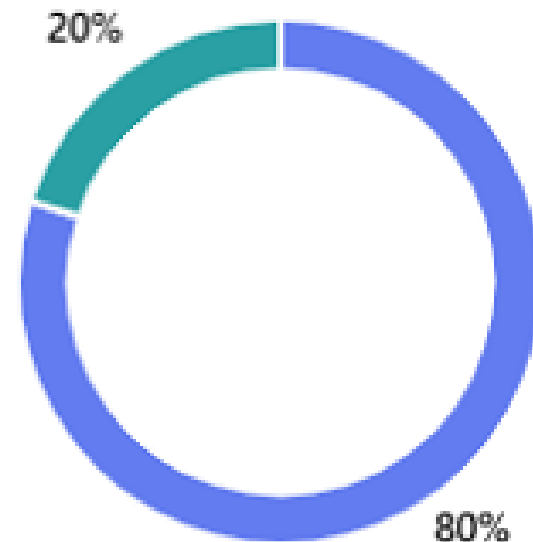
- ・それぞれの会社の特徴や業務内容についてお話していただいた上で、起業についても聞くことができ、良い体験になった。
- ・自分の進路について今回の講義を照らし合わせて考える機会が多かったため
- ・企業のことだけでなく、普段の生活や高専OBとして貴重な経験やアドバイスが聞けたので良かった
- ・以前行っていただいた講義内容と違いが分かりづらかったため、もっと違う内容や企業さんの話を聞けると楽しかったと思った。

# ■ 海外インターンシップ 2025

企業名	国	実施期間	学生人数
抱月工業(株)	ベトナム	8/18(月) ~ 8/23(金)	3名
ロックエンジニアリング(株)	タイ	9/ 1(月) ~ 9/12(金)	2名

※今回の海外ISを経験して、将来海外で働きたいですか？

● 大いに思う	4
● どちらかと言えば思う	0
● どちらとも言えない	1
● どちらかと言えば思わない	0
● 思わない	0



## ※海外IS 参加学生のコメント（抜粋）：

- 文化については想像以上に学ぶことができた。  
また、工場内では作業している人に気になることを全て聞くことができたので、金属加工の知見を増やせてよかった。  
しかし、もう少し実習をしたかった。
- ホテルや食事、ベトナム観光など終始非常に良い待遇をしてもらい、全力で満喫できた。  
また、日本とは異なる価値観に無数に出会い、自分が今まで知っていた世界が、ほんの一部でしかないことを体感することが出来た。  
ベトナムに行く前に比べて、視野がかなり大きくなったように感じる。
- 希望があれば、それを実行してもらった。また、すごく親切だった。
- 海外で働くとはどういうことかということを経験しながら学ぶことができたと思ったため。
- 日本のインターンシップとも違い、海外旅行とも違う海外インターンシップでしか得られない体験がいくつもありました。  
将来、海外で働きたいと少しでも考えているのなら、このような機会は必ず逃すべきではないと思います。

# ■ 会員銘板設置（2025.9月）

本校 管理棟の壁面に  
産学連携推進会 会員企業様の銘板を  
設置しました

大阪公立大学工業高等専門学校		産学連携推進会会員（五十音順）		2025年7月8日現在	
1	アヘル㈱	21	サイレックス・テクノロジー㈱	41	㈱ニチフ電子工業
2	㈱池田泉州銀行	22	㈱サンアップ	42	日伸工業㈱
3	出光興産㈱ 愛知事業所	23	㈱三友システム・テクノロジー	43	(一財) 日本品質保証機構
4	㈱梅田鉄工所	24	新晃工業㈱	44	ネクストウェア㈱
5	㈱エネゲート	25	辰星メタルパートナー	45	ハイラブル㈱
6	㈱エンジニア	26	㈱スタッフ	46	㈱ピー・ディー・アイ
7	OSPマシナリー㈱	27	スタディスタジオ㈱	47	㈱フォーラムエイト
8	大阪シーリング印刷㈱	28	㈱スリーエフ技研	48	不二製油㈱
9	OLIENT TECH㈱	29	精密プレス工業㈱	49	富士電機㈱
10	㈱カネカ	30	成和化学工業㈱	50	泡月工業㈱
11	㈱川金ホールディングス	31	センターフィールド㈱	51	㈱北海道鉄工所
12	木ノ本伸機㈱	32	泉南乳業㈱	52	村中医療器㈱
13	錦城護謨㈱	33	(一社) ソフトウェア協会	53	㈱モトヤマ
14	㈱QUICK	34	タイキン工業㈱	54	モラル阪神工業㈱
15	㈱クリスタル電器	35	㈱タイセル	55	㈱モリタ製作所
16	栗原木工㈱	36	辰巳工業㈱	56	㈱森本組
17	㈱クロセ	37	㈱テクノタイヨー	57	㈱山本金属製作所
18	ケイ・エイチ工業㈱	38	トータルソリューション㈱	58	山本光学㈱
19	㈱コニック	39	トーテックアメニティ㈱	59	㈱RyuLog
20	㈱コムラ製作所	40	㈱中田製作所	60	ロックエンジニアリング㈱

# ■ 企業研究セミナー 2025

**日時** 2025年12月15日（月）、16日（火）13時～17時30分  
**主催** 一般財団法人大阪労働協会  
**実施目的** 就職活動の開始前に学生が企業情報を調べる機会とする  
**参加学生** 3、4年生 2日間で延べ520名  
**参加企業** 177社（うち産学連携推進会 会員企業26社）



# ■ 学内インターンシップ 2025

## <栗原木工(株)> 造作家具製造における現状とデジタルトランスフォーメーション

- ・参加学生 3年生 2名
- ・達成目標
  - ①木材の性質を読み取る知識・スキルを身につける。
  - ②手加工の技術とDX加工を融合させる知識・スキルを身につける。
  - ③身につけた知識・スキルをもとに製品を製作(アウトプット)できる。
- ・実習期間 2025年5月～2025年12月
- ・最終報告会 2025年12月22日(月)



## <抱月工業(株)> モノづくりのトレーサビリティにふれる旅

- ・参加学生 4年生 1名、5年生 1名
- ・達成目標
  - ①モノづくりに関連するあらゆる業務を広く長く触れ、問題発見力をつける。
  - ②様々なケースを想定し、提案力、企画力、問題解決力を高める
  - ③「お客様視点の経営」を学ぶことで、ビジネスマインドの醸成につなげる。
- ・実習期間 2025年5月～2025年12月
- ・最終報告会 2026年 1月13日(火)



# ■課題解決型学習 PBL2 最終発表会（1/21,1/28開催）

## 「課題解決型学習PBL2」最終発表会のご案内

本校4年生による「課題解決型学習PBL2」最終発表会を開催いたします。

ご多忙の折とは存じますが、ご都合つくようでしたらご来校の上、ぜひ学生からの最終発表やポスター展示をご覧いただければ幸いです。

何卒、よろしくお願い申し上げます。

### ■日時、テーマ、テーマ提供企業：

・下記の5テーマごとに、学生のチームが検討状況を発表（5分）、質疑応答

日時	テーマ	テーマ提供企業
1月21日(水) 13時05分～14時40分	機械で、いろいろな材質、太さのひもを「蝶々むすびさせる」には？	(株)カネカ
	会話可視化技術を活用した教材と教育プログラムの開発	ハイラブル(株)
1月28日(水) 13時05分～14時40分	AIによるマンガ作品自動創作ツール開発	(株)フォーラムエイト
	メタバースとAIを活用したバーチャルオフィスの業務アシスタント機能開発	
	デジタルシティを活用したスマートシティシステムの検討	

■各テーマごとの優秀チーム（5組）が、3/5の「Tec-Challenge」に出場して、プレゼンを競い合った。

# 「Tec-Challenge 2025」 (3/5 開催)

チーム名	発表タイトル	テーマ提供企業
次世代のお米サブスク	日本の米市場における課題と解決策 ～UC-win/Roadを活用した農地安定性評価 ブランド化システムの提案～	フォーラムエイト(株)
Imprint coffee	世界に1つだけの コーヒー体験を	フォーラムエイト(株)
EyeZu (アイズ)	見えない判断を可視化する「EyeZu」	ハイラブル(株)
メタバア	メタバニアを活用した宿泊施設3D閲覧システム	フォーラムエイト(株)
ホワイトウォーター フォール	ダイエット食としての 白滝の市場開拓	(株)カネカ

※ 当日の発表チーム：

審査員の  
みなさま



所属	役職	お名前
独立行政法人 工業所有権情報・研修館	近畿統括本部長	渡辺 治
一般社団法人 ソフトウェア協会	副会長	豊田 崇克
公立大学法人 大阪	理事	丸尾 利恵
大阪公立大学	工学研究科長 ・工学部長	綿野 哲
大阪公立大学	スタートアップ 創出 ・支援センター長	潮 尚之
大阪公大高専 産学連携推進会	代表幹事	木ノ本 裕
大阪公立大学 工業高等専門学校	校長	秋田 成司

# ■ 会員企業向け「リスクリング研修」 (2026.3月開催)

## 産学連携推進会 会員企業向け「リスクリングセミナー」 受講者の募集

■ テーマ : 「2輪ロボットを用いたロボット制御実習」

■ 開催日時・内容 ※3回連続講座です

	日 時	内 容
1日目	2026年3月16日(月) 13時30分～16時30分	Python言語を使ったプログラミング実習 基本構文、変数設定、ロジック、エラー処理、デバッグ
2日目	2026年3月19日(木) 13時30分～16時30分	マイコンを活用した制御方法 ・入力系機器(赤外線センサー、超音波センサーなど)の制御 ・モーターの出力制御(速度、回転方向)
3日目	2026年3月23日(月) 13時30分～16時30分	2輪ロボットの制御、製作実習 ロボットの組み立て、ライントレース、自動制御等

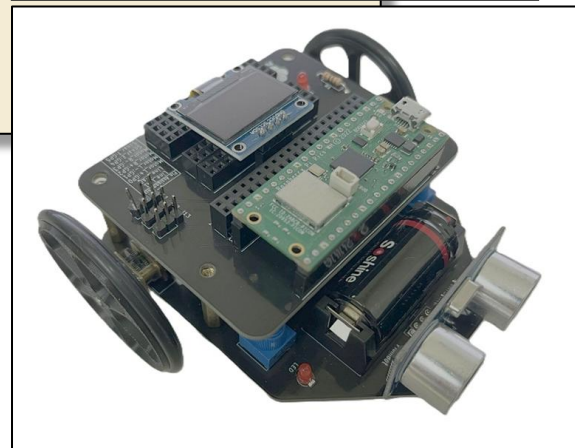
■ 講 師 : 本校 エレクトロニクスコース 講師 安藤 太一

■ 場 所 : 本校 通信工学実験室 II

■ 定 員 : 3～6名

■ 受講料 : 1名様10,000円(教材費込み/全3回分)

※今回製作したロボット



## ※ 受講者の声

- ・ 製造業の現場では、様々な改善ニーズがあるが、外部業者への委託は非常に高額な見積りとなり、自社開発する要員もいないため、実現が難しい。  
今回のような研修で、スキルアップすることは重要と思われる。
- ・ (今回の研修は、高専での専門授業をベースにしたモノ)  
現役の高専生が、企業との連携を図ることができれば、双方でWin-Winの関係になれるのではないかと...
- ・ 今回の研修で、何でも出来る気がしてきた...。  
同時に「こういうモノを作りたい...」という意欲や熱量が必要となる...
- ・ 企業の担当者が、ゆめものがたり工房で「マシン実習」できるようにならないかと...
- ・ 企業の中にずっといると、最新の開発ツールや、AIの活用方法などに触れる機会は乏しい。  
このような場に参加して刺激を受けることは、職場の活性化にもつながるはず...
- ・ ハードウェアの知識が無いと、AIへの指示の出し方も適切にならない。
- ・ 開発ツールとAI活用の知見があれば、正確性の向上・時間短縮につながる。